

日時 2013年12月1日(日) 10:00~15:00 天候:晴れ 名古屋最高気温14℃(平年14℃))
活動場所 くらしの森 大坂池南のクズ・ササ原
作業 大坂池南側(旧畑)の草刈り、クズ除去など
参加者 会員33名, 子供1名, 市職員1名 合計35名

- 今日から12月、とうとう今年最後の定例森づくり活動となりました。天気はこれぞ本物のピーカン、朝の光がまぶしいばかり、寒さをほとんど感じない活動日和となりました。
- 作業開始にあたって小笠原リーダーから挨拶と新会員坂本さんの紹介があり、続いて滝川代表から、本日手入れするエリアは元畑で、何年も放置されてササやクズで覆われつくされてしまったが名古屋市の提案と協力で再び耕作地として甦らせようということになりました。皆の力でワタや菜の花が咲き乱れ、豊かに果物が実る里山の風景を取り戻したい、と説明があり、名古屋市の山本さんがこれまでの経緯などを紹介、早速作業に取り掛かりました。
- 北斜面でまだ日が照らない一面のクズの原を前にした時は、この人数でこれを開墾できるのだろうかと一瞬たじろいだ面々も、黙々とクズの葉、弦を切り払い、そしてササを刈り取る作業を進めるうちに、次第にピッチが上がり、お昼を挟み15時に近づく頃には「これ本当に私達がやったの!」と声が出るほどの様変わりです。7日(日)企業会員さん若手100有余名に残りのエリアを胸を張って「後お願いします」とバトンタッチできる成果となりました。



こんなクズの原が



朝、新会員の紹介です

こんなになるとは!



クズ原の下で春の準備、フユノハナワラビとツクシです



クズの茎にも年輪があります



お疲れ様でした。来年活動初めは1月5日、天白溪湿地です。良い年を!